

阪神国道線 71型 形式図

1937年、併用軌道の国道線用に製造された低床電車

「阪国の金魚鉢」と呼ばれたようにそのサイドの大きな窓が特徴

また、この種の電車としては早くから総括制御運転を採用し、密着連結器を装備していたのも注目

71型は10輛作られたが、同型車として91型と201型があり、いずれも台車はボールドウィン64-20R

図は左半分に鎖線でポールを記入して往年のポール使用時代の状態を表した

